

## 平成30年度事業計画書

かつて、日本人の勤勉さ・チームワーク・技術・製品は目を見張るものがあり、外国では日本を手本にしようと世界の注目を集めていました。しかし、その後日本を相手にしようという国は極端に少なくなってきました。

労働力の低下・スキルの低下、そして、自分だけよければよいという風潮から世の中の動きを勉強する努力を怠ってきたツケがきています。私たちは先輩が残してくれた遺産で生活できているといっても過言ではなく、私たちが子供・孫の世代に生活しやすい地域をしっかりと築き上げあげていかなければなりません。

また、全国的に高齢化社会・労働力人口不足が急速に進んでおり、地域社会の担い手として、シルバー人材センターの果たす役割はますます重要になってきております。

こうしたことから、当センターの会員の確保や「ひとりの会員が1つの仕事を紹介する運動」及び会員の資質向上をしっかりと行い事業運営を展開する必要があります。公益社団法人として、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」により、会員の自主的な運営参画を一層推進し、地域社会の活力推進に寄与すべく、以下に掲げる基本方針に基づき会員・役員が一丸となって事業活動を推進してまいります。

### 1. 基本方針

- (1) 安全・適正就業の推進
- (2) 会員の資質向上
- (3) 会員の確保
- (4) 就業開拓の推進
- (5) 普及啓発活動の推進
- (6) 組織活動の強化
- (7) 財政基盤の安定
- (8) 社会参加の推進

### 2. 実施計画

- (1) 安全・適正就業の推進

安全最優先の仕事をしていただきます。

安全・適正就業推進員による就業職場の巡回指導を実施するとともに、安全就業意識の普及啓発及び安全就業講習会等実施し会員の安全・適正就業の徹底を図り、事故ゼロの実現をめざします。

なお、会員への就業提供や会員の就業に関連して発生する諸問題に対しては、就業相談会を行なうなど、会員意識の高揚と会員間の

コミュニケーションづくり等就業環境の整備向上に努めます。

(2) 会員の資質向上

お客さまはシルバー人材センターに対してより良いサービスの提供を求めています。新規会員はもとより、既会員の資質、技能の向上は不可欠であります。そのために会員への各種技能講習や研修事業を開催し、就業先からの信頼が高められるよう、会員の資質の向上及びリーダー層の充実を図ります。

(3) 会員の確保

労働力人口不足・企業の定年延長等により、入会を希望する人が少なくなってきました。仕事を通じて社会に参加しようとする健康で働く意欲のある高齢者に対して、入会説明会の開催や推進員及び会員による入会の促進を行ないます。

(4) 就業開拓の推進

就業開拓は当センターにおいて重要な課題であり、推進員による企業や一般家庭等への個別訪問を行うとともに官公庁に対しても積極的に働きかけを行い、一人でも多くの会員に、その希望と能力に応じた仕事の提供が行えるよう就業の拡大を推進します。

(5) 普及啓発活動の推進

地域社会に向けてセンターの事業を広報紙やホームページ等で広く紹介するとともに、自治体で開催するイベント等にも積極的に参加し、社会参加を希望する高齢者に対して啓発活動を行なうとともに、地域社会に理解と協力が得られるよう努めます。

(6) 組織活動の強化

「自主・自立・共働・共助」を基本理念とするシルバー人材センターにおいて、会員の組織活動の強化は、適正かつ円滑な事業運営を行なううえで不可欠であります。今年度も事業の推進上必要に応じた会員組織の編成及び充実を図り、会員の手による事業運営が図られるようセンター組織の活性化を促進します。

また、センターの基礎的な組織である地域班を中心とした地域組織については、必要に応じて見直しを行い、その活動の活性化を推進します。更に、適正・迅速な就業機会の提供に向けて、職群班の組織強化に努めます。

(7) 財政基盤の安定

センター事業の運営には、財政面の安定は最も重要な課題であり

ます。今後も、運営の効率化、運営基盤の強化の推進に努めます。

センターの円滑な諸事業の運営には、諸経費の増加が予測されますので、最小経費で最大の効果が得られるよう諸事業について見直すべきところは見直し運営に専心する必要があります。

#### (8) 社会参加の推進

人と人が出合い刺激を受ける中で生きがい・やりがいが生まれます。行政及び各種団体が行う行事に積極的に参加するとともに、会員に対して地域見守り等への協力参加を呼びかけます。

また、ボランティア活動等にも積極的に社会参加ができる環境づくりを行い、地域の高齢者の拠点としての機能が果たせるよう努めます。